

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 070	提案機関名 神奈川県内水面養殖業者協議会
要望問題名 在来ヤマメを活用した新たな内水面養殖魚種の開発について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 丹沢水系で古くから生息している在来ヤマメが確認されたとのことで、それを用いた養殖ヤマメの開発に取り組んでほしい。在来魚はその地域特有の魚として人気が高く、本県においてもそれを活用した養殖魚種が開発できれば、養殖業の発展に寄与すると考えられる。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
担当者名：古川 大、井塚 隆、本多 聡			
電話番号：042-763-2007		FAX番号：042-763-6254	
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 在来ヤマメ漁場環境再生事業			
対応の内容等 在来魚の活用については、本県の「農林水産関係試験研究推進構想 水産業の部（令和5年3月）」の試験研究課題（中課題）で「在来ヤマメの保全と増殖技術の開発」として掲げております。 そこで、丹沢在来ヤマメについても、その種苗生産技術の開発や、内水面漁業者への技術普及を実施しているところであり、更に今後は養殖場への技術普及も併せて取組むことで、養殖業での活用を進めてまいります。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			